



吉原



舞鶴市立吉原小学校
学校だより
12月号
令和5年11月30日

自分のこと、友達のことを大切に

山の木々がきれいに色づきはじめたかと思う間もなく、校内の桜の葉もすっかり落ち、冬が近づいてきていることを感じます。

11月18日(土)には、PTA親子行事が行われ、多くのご家族にご参加いただきました。体育館では、「だるまさんがころんだ」や「ストローとんぼ」の製作、教室では「ボッチャ」をグループで行いました。保護者の皆さまをはじめ、中高生の兄姉、就学前の弟妹も一緒になり楽しい時間を笑顔で過ごしていただけて良かったです。



校内の桜の木に残る

さて、12月10日は国際連合が定めた「世界人権デー」です。本校でも11月24日～12月8日を人権旬間と位置づけ、自分たちの生活を振り返り、人権について考え、大切に取る取組を進めています。

学校が人権教育で大切にしていることは、子どもたちの人権感覚を磨き、人権意識を高めることにあります。

『人権感覚』とは、人権が守られていることを認識しこれを望ましいと感じ、反対に人権が侵害されていることを認識しこれを許せないとする感覚であり、『人権意識』とは、人権が大事にされていることを肯定し、逆に侵害されていることの問題性を認識して、人権侵害を解決せずにはいられないとする意識です。

本校では、日頃より折にふれ“思いやりのこころ”や“かけがえない命”について考える機会を設けて、子どもたちに“人への優しさ”を育もうと取り組んでいます。11月24日の人権集会では、吉原小学校の目当て「みんな楽しく登校し勉強や運動をがんばることができる」学校にするためには、いじめられたり、いやなことを言われたりするようなことがあると守れません。もちろん、“人権”も守れません。人権旬間は、一人一人を大切に、相手の気持ちを考え、思いやりを持って生活していくことの大切さをみんなで確かめ合う機会です。友達のこと、そして自分のことを見つめ直し、考える機会にしましょうと、話をしました。



仲よし大縄 練習中



花いっぱい運動

本校の人権旬間では、学級毎に授業を行い、人権について考え話しあっています。12月8日のまとめ集会で、自分たちが学んだこと、考えたことを発表します。人権について考えたこと、友達とのかかわりの中で学んだこと、嬉しかったことを出し合い、自分の成長につなげてほしいと思っています。

今年もあとひと月、2学期をしめくくる時期となりました。インフルエンザ等の感染対策を行いながら、日々の学習の振り返りをしっかりとし、3学期に向けて新たな目標を持たせていきたいと思えます。皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

校長 青木 信次
教職員 一同